

## 京西テクノス、KLES（Kyosai Life Extension Service）事業強化の一環で 高度基板修理、リワークを主力とする株式会社ビオラを完全子会社化

京西テクノス株式会社（本社：東京都多摩市愛宕4丁目25番地2 代表取締役社長：白井努）は、当社グループの基板修理事業の強化のため、BGA リボール・ワーク等の高度基板修理事業を主力として幅広い顧客基盤を抱える株式会社ビオラ（本社：京都府京都市右京区 代表取締役社長：三谷信一、以下ビオラ社）の全株式を取得し、完全子会社として迎えました。

京西グループは、「医療」「計測」「情報・通信」「環境・エネルギー」「分析・ライフサイエンス」の分野で独自のサービス体制を確立し、ワンストップで提供する「トータルマルチベンダーサービス」をはじめ、「顧客ダイレクトサービス」、「自社プロダクトの創出」の3つをビジョンとして掲げております。その事業の大きな柱の一つである KLES (Kyosai Life Extension Service) 事業の強化の為、ビオラ社を京西グループに向かい入れ、提供サービスの幅を更に拡充するものです。KLES 事業は、当社の強みである計測器の校正・修理ワンストップサービスから、産業機器全般の電子機器や電子基板の修理などに対応しておりますが、この資本提携により、高密度パッケージである BGA のリボール・リワーク、部品実装基板の X 線検査による故障診断等、幅広く顧客の要望にお応えする体制を整えることが可能になります。こうした KLES 事業の拡充は、エンドユーザ視点に立った産業機器の延命ソリューションの提供だけでなく、サーキュラエコノミー社会の実現に貢献するものと確信しております。

京西テクノスの KLES 事業は、これまで東京本社を中心にサービス提供して参りましたが、来年 11 月には西日本エリアのサービス拡充を目的に、京都新本社での修理体制も構築予定です。また、当社他事業所の修理能力をサテライト拠点として、東京本社、京都本社と連動させていく総合的な修理・保守体制を構築して参ります。現在、予防保全、修理、再設計、新規開発も含めた KLES 事業の売上は約 16 億円ですが、今回、ビオラ社の提供サービスを加えたシナジー効果で、KLES ブランドを更に強化し、2030 年度には売上 30 億円への拡大を目指して参ります。

本件の問合せ先：大嶽 充弘（専務取締役 KLES 本部長）

住所：〒206-0041 東京都多摩市愛宕 4-25-2

電話：042-303-0888

FAX：042-303-0889